

# 問 本市におけるデマンド型交通は

## 答 課題解決の手段の一つ



### 鈴木 みどり 議員 やとみ志政会

**問** 南部地域通学通勤バス第1期、第2期社会実験運行の結果は。

**答** 〔市民生活部長〕 運賃やバス停の満足度が非常に高く、運行本数や運行ダイヤに満足度が低い。

**問** ※「チョイソコ」の南部地域実証運行にあたり、住民説明と内容は。

**答** 大藤、栄南の各地区公民館等で説明会。「デマンド」とは「チョイソコの仕組み」など動画で説明。

**問** 北部・東部の導入は。また、その説明会はいつ頃か。

**答** 「チョイソコ」導入は未定。  
公共交通の再編は、東部は令和5年度、北部は令和6年度から予定。

**問** うまく運行が出来なかった場合に、北部・東部の運行は。

**答** 検証結果を踏まえ、各エリアに合う実証実験を行っていく必要がある。

**問** 現在のタクシー券の利用率は。苦情・要望などは。

**答** 〔健康福祉部長〕 利用率は27・5%。令和3年度から1回乗車に2枚使用可。

**問** 市長総括を。

**答** 〔市長〕 新しい移動手段を導入し、便利になる形へ見直し、検討していく。

**問** 〔健康福祉部長〕 利用率は27・5%。令和3年度から1回乗車に2枚使用可。

**答** 〔市長〕 新しい移動手段を導入し、便利になる形へ見直し、検討していく。

**※チョイソコ**  
利用者の要望に応じて運行する民間のデマンド型乗り合い送迎サービス。

チョイソコのようなデマンド型交通が広がっている背景

暮らしも便利で「買い物者」とも呼ばれる交通難民の増加

本年度で廃止

＜主な要因＞

- 商業集積場所の衰退
- 既存公共交通の衰退
- 高齢者運転免許自主返納の促進
- 75歳以上運転免許返納の認知機能検査開始（2021年10月）

少子高齢化で維持困難

昨今の爆ましい高齢者事故増加により運転免許返納が加速

過疎地域だけではなく都市部でも課題に

新しい交通のしくみが必要



**問** 元気なまちづくりを

**答** 幸福を実感できる地域づくり

**問** コロナ禍の3年間で、子ども会はいくつなくなっ

たか。

**答** 〔健康福祉部長〕 8団体減少。

**問** 減少理由は。

**答** 夜間や休日の役員活動が大きな負担。

**問** 高齢者が増加するのになぜ福寿会の会員が減少すると思うか。

**答** 新規加入者の減少と、会員の高齢化による退会者の増加。



**問** 高齢者にも楽しんでもらえるイベントの考えは。

**答** 自由な発想を得て、市民と行政、社会福祉協議会など関係機関と協働の形で考える。

**問** 市長総括を。

**答** 〔市長〕 関係機関と連携を図り、各種団体等を支援していく。